

第1244回例会
(立 食)

新入会員卓話例会

健診結果を正しく理解して、いつまでも健康に！

2018年1月17日(水)
(平成30年)雨 No.24

- ☐ 司会 伊藤秀生 会場運営委員
☐ ロータリーソング 「奉仕の理想」

- ☐ 出席報告 会員総数86名(免除者17名)
義務者出席52名 免除者出席11名 総数63名
出席率78.75%



会長あいさつ

小室健次郎会長

今日はこの後、両角さんのお世話で、第二赤十字病院の職場見学会に参ります。

私はこの職場見学会を去年から非常に楽しみにしておりまして、お正月のテレビ番組を見ておりまして、自分の体について色々考えることができました。

元日には解体新書についてのドラマを観ました。そして、3日には「NHKスペシャル シリーズ 人体～神秘的巨大ネットワーク」という番組の予告編的な番組が放送されていました。司会はタモリさんと山中伸弥教授でした。

タモリさんは28年程前にも人体に関する番組の司会をしたことがあるそうですが、その時は、脳が指令を出して、各臓器がそれに基づいて色々な働きをする、というような話だったということです。

しかし、それから28年が経って医学が進歩し、脳からの指令ではなく、臓器自体が独自に働いて、臓器同士で会話をする巨大なネットワークを作っていることが分かってきた、というような話をされていました。

今日は第二赤十字病院で色々ご説明を頂けるということで、楽しみにしております。

幹事報告

長澤正志幹事

(1)今後の主なスケジュールです。

- ①本日の例会後に、職場見学会として八事・第二赤十字病院を訪問します。参加人数は、RACの2名を含めて29名、その後の懇親会は20名の予定です。参加者は14時20分に病院のホール1階にお集まり下さい。
- ②1月24日(水)は、職業奉仕顕彰、例会後に理事会があります。
- ③1月31日(水)は、定款により休会です。
- ④2月は、21日(水)は西名古屋区分IM(インターシティ・ミーティング)が行われますので、夕方に例会変更です。IMでは4件の奉仕活動事例が発表されることになっており、当クラブからは「バングラデシュの多目的サイクロンシェルター建設」(国際共同事業)の難産プロジェクトについて藤井直前会長からご報告頂きます。
- (2)台湾の台北建成RCから、「少人数(10名弱)で来名し、昨年春の台北建成RC 20周年式典参加の御礼と共に、当クラブとの姉妹クラブ継続締結式を行いたい」との申し出がありました。日程について、12月13日の理事会に報告した上でメールで協議をしていましたが、姉妹クラブの3年間の有効期限が3月27日(水)に切れることも勘案し、3月28日(水)の例会にて姉妹クラブ継続締結式を行うよう最終調整をしています。

1月は職業奉仕月間です

< 例会開催予定 >

- ◇第1245回 1月24日(水) 通常例会(洋食)
職業奉仕顕彰
職場見学会報告
【例会後】第7回理事会
1月31日(水) クラブ休日

- ◇第1246回 2月7日(水) 通常例会(立食)
誕生日・結婚記念日祝福
◇第1247回 2月14日(水) 通常例会(和食)
新入会員卓話 村本博朋さん
外部卓話 名古屋女子大学文学部 林 和利教授

新入会員卓話



「健診結果の見方」

高田統夫さん

まず自己紹介をさせていただきます。私は昭和46年生まれで、つい先日46歳になりました。平成9年に名古屋市立大学を卒業して第三内科に入局。ここで腎臓グループのボスだった両角先生に色々教えを受けました。そして、研修医、大学院、大学病院、守山市民病院を経て、平成18年から父の後を継いで高田内科クリニックで開業しております。その他の役職としては、児童虐待の会議であるなご子どもサポート中村区代表者会議専門委員、もの忘れ相談医、審査部会連絡協議会(介護認定の審査)なども務めております。専門は内科、特に循環器内科で、その中でも心不全を専門としております。

この写真が高田内科クリニックです。その隣に父がやっている健診の「ライフ健康クリニック」があります。ここで健診をした全ての人の結果は私が最終的に診ています。



職場における健康診断には、皆様になじみがある年1回の定期健診の他に、従業員を雇い入れた時の雇入時健診など様々な種類があります。こうした健診は全て事業者が従業員に受けさせなければならない義務です。そして、従業員数が50人を超える事業所に関しては、健診結果を必ず労働基準監督署に報告することになっております。

それぞれ健診の項目は事細かに決まっており、例えば定期健診項目では、身長、体重から始まり、視力、聴力、レントゲン、血液検査等々です。

そして、それぞれの項目について、「異常なし」「軽度異常(放置可)」「経過観察(要指導)」「要精密検査」「要治療」という判定がされます。判定は我々が適当につけている訳ではなく、人間ドック学会が定めている基準が存在します。この判定項目を見て皆様は一喜一憂する訳ですが、この判定の言葉の意味について少しお話しします。

まず一番嫌な「要精密検査」「要治療」は、直ちに治療が必要、あるいは直ちに精密検査を受けて治療が必要かどうか判断することが必要な状態です。遅くとも1ヶ月以内には受診して頂ければと思います。

次に「経過観察」は、直ちに精密検査や治療は必要ではないが、今後の推移によっては治療が必要になってくるかもしれない、というものです。異常の程度により、年に1回くらいみておけばいいよ、というものから、これは少しおかしいので3ヶ月経ったらもう1回検査しようね、というもののまで、かなり幅が広いものを言っています。それとは別に、もし何か症状がある場合には必ず受診して下さい。

「軽度異常(放置可)」は、正常範囲内ではないが、病気じゃないでしょう、という所見です。気にしない

くていいということです。そもそも正常値は、何万人もの人を検査して統計を取り、だいたい95%の人が集まっている範囲を正常としています。でも、その人にとっての正常値というのはまた別です。こういうものは放置可と分類されることもあります。

最後の「異常なし」は、読んで字のごとくです。おめでとうございます。

ただし、「異常なし」や「経過観察」でも例外があります。例えば、LDLコレステロール(悪玉コレステロール)が146の場合は経過観察になります。また、糖尿病に関係するヘモグロビンA1cが6.4%でも経過観察です。ところが、この2つの数字を同一の人が持っていた場合には、実は「要治療」になってしまいます。

それから、クレアチニンが0.4で「異常なし」と判定された男性が、次の年に0.9になった場合は、絶対に検査しなければいけないよ、と両角先生から本当に口を酸っぱく注意されました。

つまり、検査項目は単項目だけではなく、組み合わせも考えなければいけません。また、検査結果はその年だけではなく、流れを見る必要もあります。

しかし、そんなことを言われても……、と皆様思われると思います。ですから、かかりつけ医を持って頂き、健診結果をかかりつけ医に相談して頂けるといいと思います。

皆様、健診結果をおろそかにせずに、素晴らしい1年を過ごして頂ければと思います。

ニコボックス

- 高田統夫さんの新入会員卓話と、第二赤十字病院の職場見学会を大いに楽しみにしています。(小室健次郎さん)
- 高田先生の卓話、楽しみにしています。なお、先生は4月から中村区医師会副会長に就任されます。(西川達郎さん)
- ゴルフ部会からの報告です。去る1月14日、春日井CCは「積雪2cmスタート全員1時間遅れ、日没懸念からゴルフコンペは急遽プライベートに変更」させて頂きました。結果は、有志16名がラウンド、何とか最終組が17時前にホールアウト出来ました。西川ゴルフ部会長には、朝6時(目覚まし代わりに)相談し、参加者への自宅出発前緊急連絡をして頂き、どうもありがとうございました。(ゴルフ部会も幹事 長澤正志さん)
- ①両角さん、今日は職場見学会でお世話になります。②高田さんの新入会員卓話、シッカリ聴きます。(神野重行さん)
- スライドに出てくる映画、実は全て観ておりません。申し訳ございません。(高田統夫さん)
- 職場見学会の盛会を祈念して。(川村勝廣さん)
- 今日が初の例会です。本年も宜しくお願いします。今年はナトリウム・イオン電池を商品化します。(大川 宏さん)
- 改めて、新年おめでとうございます。ゴルフ、長澤さんお世話様でした。本日の職場見学会、宜しくお願いします。(清水順二さん)
- 今年初参加です。申し訳ありません。(岩瀬正明さん)
- 小室会長はじめ皆様、あけましておめでとうございます。本年も宜しくお願い致します。(大輪 稔さん)
- 西川ゴルフ部会長様、長澤ゴルフ部会幹事様、1月14日(日)は大変お世話になりました。ありがとうございました。(三浦久芳さん)
- 本人誕生日。ようやく40歳となりました。(加藤友康さん)
- あけましておめでとうございます。本年も宜しくお願いします。(松浦英一郎さん)
- 高田さんのお話、楽しみにしています。(高橋伴和さん)
- あけましておめでとうございます。本年も宜しくお願いします。(日比野三吉彦さん)
- その他、コーヒー代として2名の方よりご協力頂きました。